

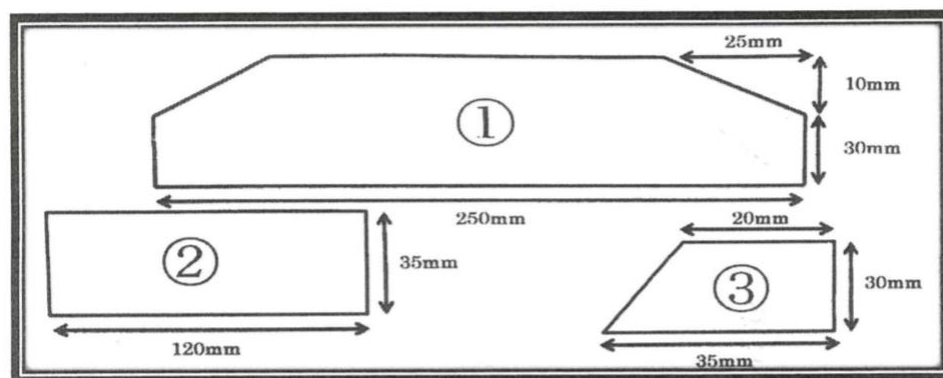
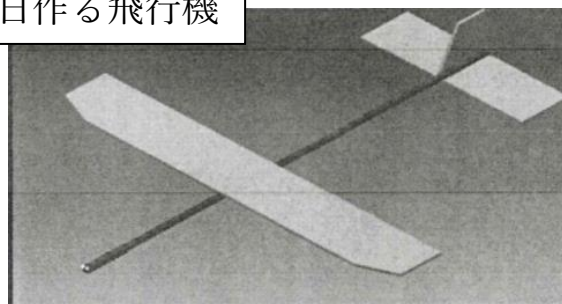
もけいひこうきつく 模型飛行機を作ろう！

by ^{とりにんげん}鳥人間サークル Aircraft Makers

^{じゅんぴ}準備するもの

- はさみ、^{じょうぎ}定規
- ^{ほつぽうよう}発泡用の^{せつちやくざい}接着剤
- ヒノキ棒(^{ぼう}今回は 3×3 ミリの^{なが}長さ 30 cm)
- ガムテープ

^{きょうつく}今日作る^{ひこうき}飛行機



^{つく}作り方^{かた}

- パーツを切り出します。
- ①をヒノキ棒の^{まえ}前100 mmの位置に取り付けます。
- ②,③を上図のように取り付けます。
- ④前方に^{おもり}重りとして、ガムテープを^{まき}巻きつけます。^{じゅうしん}重心は^{しゅうよく}主翼の^{うしろ}後ろから 1/3 にします。

注意！ ひとむと 人に向けて飛ばさないこと

みらい^{けんきゅうしつ}研究室～科学へのトビラ～

最新の飛行機はプラスチックでできている？

飛行機が飛ぶためには、軽く、そして頑丈でなければいけません。そのため、飛行機を作る材料にジュラルミンという、アルミニウムや銅を混ぜてつくる合金が使われてきました。しかし最近の飛行機にはカーボンという名前のプラスチックが使われるようになりつつあります。カーボンは鉄より軽く、強く、曲がりにくい素材です。例えば、旅客機のボーイング 787 はその半分以上がカーボンでできていて、主翼や尾翼、胴体などにカーボンが使われています。これから作られる飛行機はカーボンをふんだんに取り入れたものになるでしょう。

垂直尾翼

(すいちよくびよく) ↓

↓ 水平尾翼
(すいへいびよく)

主翼(しゅよく) →

↓ 胴体(どうたい)

エンジン ↑

